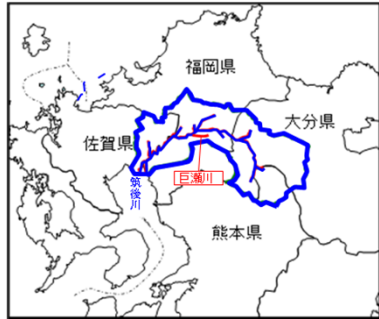


筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が協働し、水害、土砂災害に対する強靱な地域づくりを推進～

- 令和5年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国・県・市等が連携し、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、調節池整備、橋梁改築、砂防堰堤整備等の取り組みを集中的に実施することにより、令和5年7月豪雨と同規模豪雨に対して、家屋など流域における浸水被害の軽減を図るとともに、土砂・流木災害を軽減し、強靱な地域づくりを目指す。
- 令和6年出水期に向けて、河川内の堆積土砂等の掘削や防災情報の充実等を緊急的に実施する。

【位置図】



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

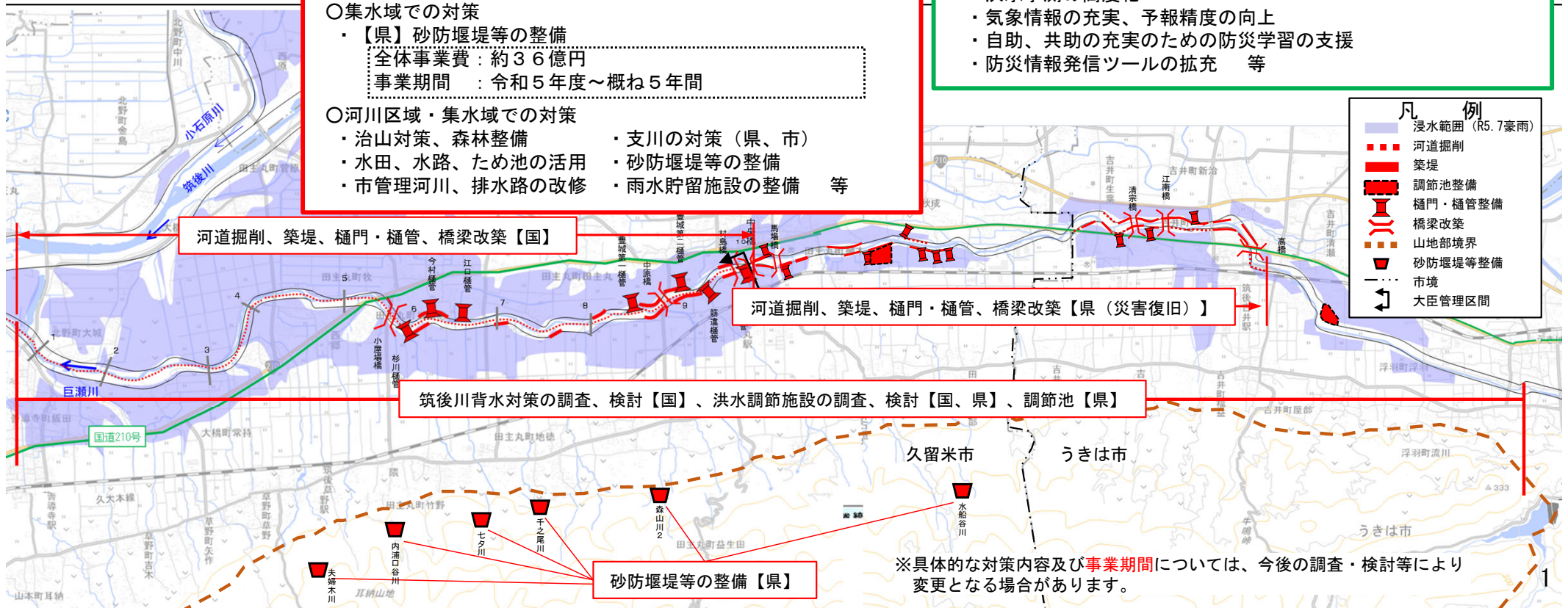
- 河川区域での対策
 - ・【国】河道掘削、築堤、樋門・樋管、橋梁改築、護岸復旧
 - ・【県】河道掘削、築堤、樋門・樋管、橋梁改築、護岸復旧
 - 全体事業費：約254億円
(国：約133億円、県(災害復旧)：約121億円)
 - 事業期間：令和5年度～概ね5年間
- ・ 筑後川背水対策、洪水調節施設
 - 【県】調節池 全体事業費：約52億円
 - 事業期間：令和6年度～令和10年度
- その他、必要な対策について引き続き調査・検討
- 集水域での対策
 - ・【県】砂防堰堤等の整備
 - 全体事業費：約36億円
 - 事業期間：令和5年度～概ね5年間
- 河川区域・集水域での対策
 - ・ 治山対策、森林整備
 - ・ 支川の対策(県、市)
 - ・ 水田、水路、ため池の活用
 - ・ 砂防堰堤等の整備
 - ・ 市管理河川、排水路の改修
 - ・ 雨水貯留施設の整備 等

■ 被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
 - ・ 多段階の浸水リスク情報の充実
 - ・ 土砂災害警戒区域等の見直し
 - ・ 災害リスクを踏まえた土地利用の取組 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

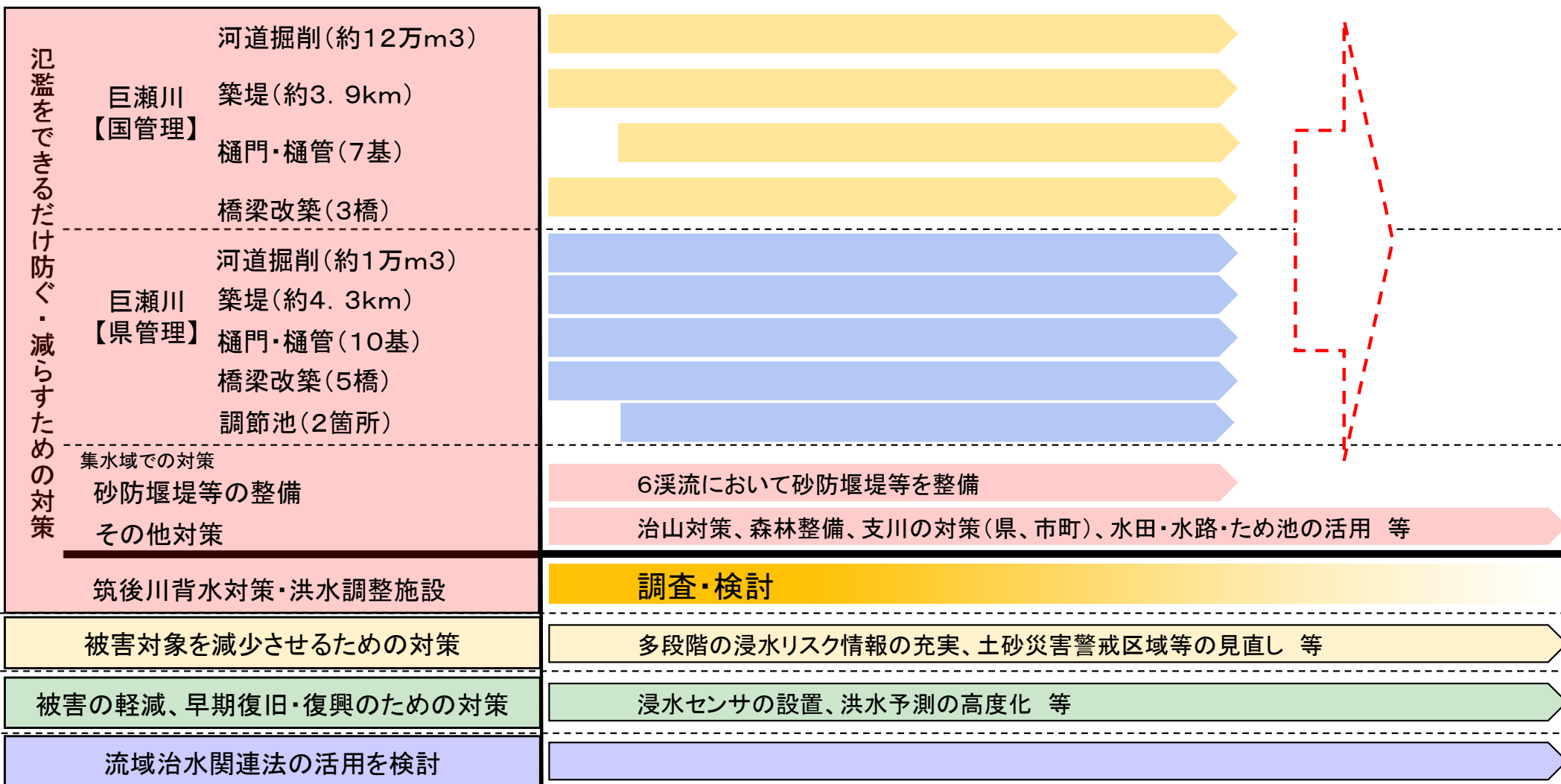
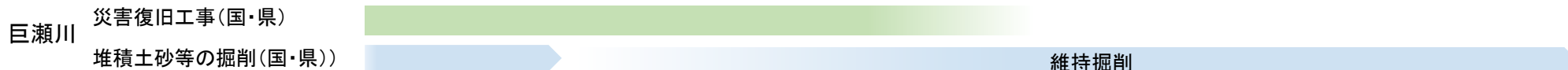
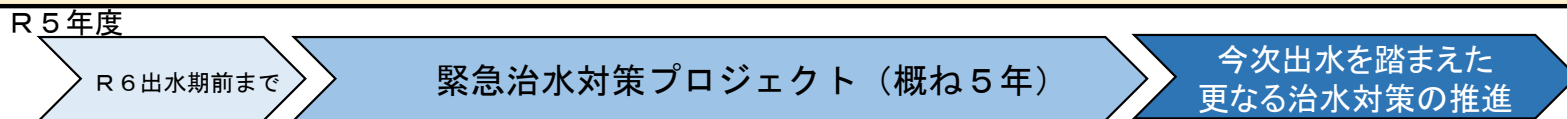
- 氾濫域での対策
 - ・ 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの増設
 - ・ 浸水センサの設置
 - ・ 洪水予測の高度化
 - ・ 気象情報の充実、予報精度の向上
 - ・ 自助、共助の充実のための防災学習の支援
 - ・ 防災情報発信ツールの拡充 等



※具体的な対策内容及び事業期間については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクトメニューの実施計画

【令和6年出水期前まで】護岸被災箇所の災害復旧工事に一部着手及び可能な限りの堆積土砂等の掘削を実施する。
 【概ね5年】河道掘削、築堤、樋門・樋管、橋梁改築、調節池、砂防堰堤等の整備を実施する。また、筑後川からの背水の影響を確認した上で必要な対策を検討するとともに、洪水調節施設の調査・検討に着手する。

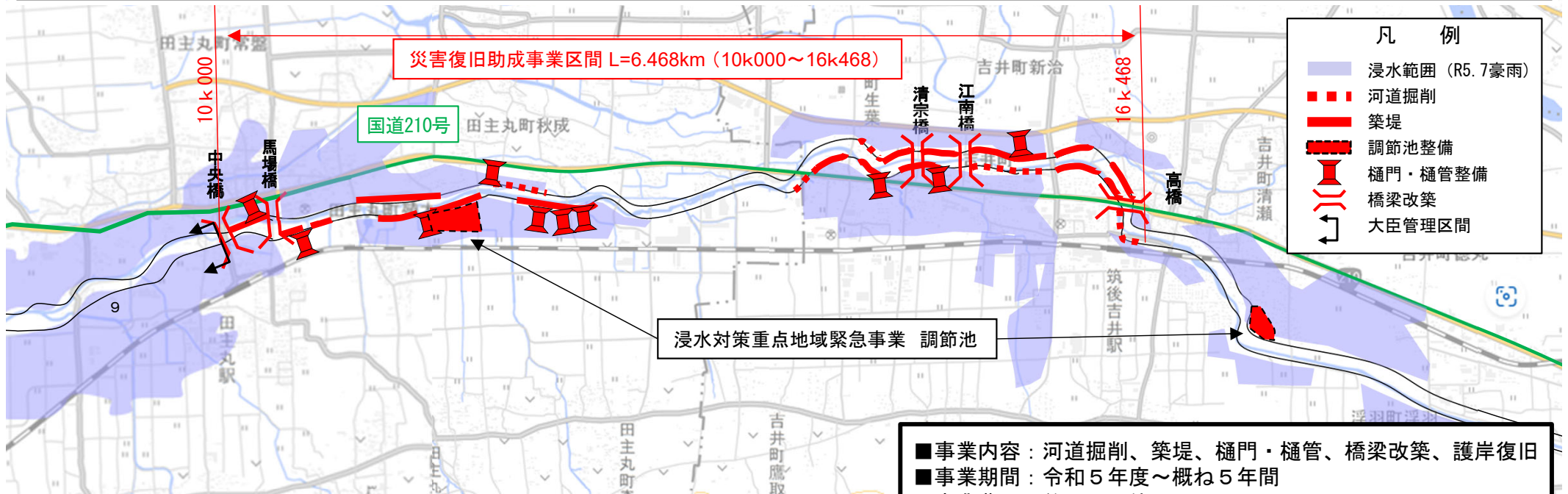


※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

筑後川水系巨瀬川流域 緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 巨瀬川の河川整備【県管理区間】

- 令和5年7月豪雨では、超過洪水による堤防越水や護岸崩壊が複数箇所が発生し、浸水家屋1,484戸、浸水面積829haの甚大な被害が発生した。これを踏まえて巨瀬川の県管理区間において、災害復旧助成事業により河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築を実施するとともに、浸水対策重点地域緊急事業により調節池を整備することで、令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して、河川からの氾濫による床上浸水被害の解消を目指す。



巨瀬川左岸 10k300付近の越水状況



巨瀬川左岸 15k600付近の越水状況

- 事業内容：河道掘削、築堤、樋門・樋管、橋梁改築、護岸復旧
- 事業期間：令和5年度～概ね5年間
- 事業費：約120億円
(災害復旧助成事業費)
約1億円※
(災害復旧事業費)
※整備箇所はP7参照
- 施工地：久留米市、うきは市

- 事業内容：調節池
- 事業期間：令和6年度～令和10年度
- 事業費：約52億円
(浸水対策重点地域緊急事業)
- 施工地：久留米市、うきは市